



小城市立歴史資料館 * 中林梧竹記念館だより

第1回 小城市の歴史講座を開催します 「牛津の歴史」

小城市郷土史研究会の川副正文さんをお招きし、牛津の歴史を学びます。

◆日時 11月6日(土) 14時

◆場所 牛津赤れんが館

◆講演 14時～15時30分

演題「九州探題 今川了俊」 講師：川副正文さん

◆入場料 無料(先着40人) ※要予約

令和3年度佐賀大学・小城市交流事業特別展 「いのちを守る-疫病と小城-」を開催します

◆期間 11月6日(土)～12月19日(日)

◆場所 歴史資料館 企画展示室

◆入場料 無料

現在、世界中で新型コロナウイルスが流行し、多数の死者・感染者を出しています。今回の展示では、江戸時代～大正時代にかけての小城における疫病と

人びととのたたかいについて、さまざまな史料を用いて紹介します。

今回の展示品から▶

『解体新書』
安永3(1774)年の西洋解剖学書
日本で初めて人体内部が正確に把握された。



開催に合わせて記念講演会を開催します。

【記念講演会】

◆会場 歴史資料館 2階 研修室

◆定員 各回25人(先着順・要予約)

・11月13日(土) 14時～15時30分

「疫病と小城」

講師：伊藤昭弘さん

(佐賀大学地域学歴史文化センター長)

・12月4日(土) 14時～15時30分

「天然痘と闘う小城市の医師たち」

講師：青木歳幸さん

(佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授)

おぎの歴史 * 探検隊

小城市内の古墳を訪ねて〈その1〉

市内には古墳時代(3世紀後半から7世紀)にかけて築造された古墳(土を盛り上げて作ったお墓)が数多く残されています。市内の古墳から代表的なものを紹介して小城市の歴史をたどっていきます。さあ、古墳を巡る旅に出発しましょう。

さて、最初に訪ねる古墳は、身近な小城公園にあります。どこにあるでしょうか。その古墳は公園の岡山頂上にあります。茶笏塚古墳です。前方後円墳といわれる形をしています。上から見ると鍵穴のようです。円形の部分が東で頂上に中林



▲茶笏塚古墳

梧竹筆の碑があり、西の方が方形をしています。平成3年度に発掘調査が行われ、出土した土器の形から4世紀後半頃(1700年程前)に築造されたことが分かりました。全長は53メートルもあります。佐賀平野西部では最古で最大級の前方後円墳です。

この前方後円墳は、大和地方(奈良県)でヤマト王権の王墓として最初に作られ、全国に広まりました。各地のヤマトの王とつながりをもつ有力な豪族の墓として取り入れられたのです。茶笏塚古墳に葬られた人物もこの小城一帯を治めていた有力者と考えられますが、平成3年度の調査では、人物が葬られた箇所は調査できませんでした。

古墳からは小城町の市街地や佐賀平野を望むことができます。今も静かに時代の移り変りを眺めていることでしょう。(続)

小城市郷土史研究会 / 著

◆開館時間 9時～17時

◆休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから

梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132